

教職課程の情報公開（武蔵野学院大学）

・教員養成の理念や養成する具体的な教員像

本学の学則第1条において、「教育基本法・学校教育法及び建学の精神に基づき、教育を社会との関連において捉え、他者理解を根底においた創造的な知性と豊かな人間性、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度及び高度情報化社会に対応できる諸能力をそなえ、我が国及び国際社会の発展に寄与する主体性のある人材の育成を目的とする」としており、教員養成・構想に合致するものと考えている。

・教職指導に係る学内組織などの体制

（1）大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

① 委員会の名称 教職センター〈教育実習担当〉

② 委員会等の構成員（役職・人数等）

教職センター長（1名）

副センター長（1名）

センター委員（1名）

事務職員（2名）

③ 委員会等の運営方法

3年次に行う「教育職員基礎学力試験」の問題作成及び試験の採点・評定を中心とするとともに、外部機関による「英語検定試験」などに関する学生の状況等も含め、当該学生が、教育実習に適格かどうかに関する資料を「武蔵野学院大学教育実習連絡委員会」に提出・審議し実習参加者を決定する。

また、実習生の評価に関して、教職センターで基礎資料を作成し、「武蔵野学院大学教育実習連絡委員会」で決定する。

（2）大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

① 委員会の名称

教職センター

② 委員会等の構成員（役職・人数等）

教職センター長（1名）

副センター長（1名）

センター委員（1名）

事務職員（2名）

③ 委員会等の運営方法

埼玉県教育委員会、狭山市教育委員会などより指摘等があった場合、検討する。

・教員養成に携わる専任教員の経歴、専門分野、研究実績など

氏名	学位	担当科目	業績・経歴
高橋 暢雄	法学修士	進路指導	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『他者理解へのアプローチ』（監修・共著、武蔵野学院 武蔵野短期大学、平成 15 年） <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「他者理解」のための基礎諒解(1)」（『武蔵野学院大学大学院紀要』第 11 輯、平成 30 年 3 月） ・「キャリア教育における「他者理解」(1) ～キャリア教育が目指す力～」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年 3 月) ・「キャリア教育における「他者理解」(2) ～前提基礎力としての「チームシップ」～」(共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 16 輯、平成 31 年 3 月) ・「キャリア教育における「他者理解」(3) ～「向き合う力」への基盤マインドセット」(共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 17 輯、令和 2 年 3 月) ・「キャリア教育における「他者理解」(4) ～時代精神と視座の転換期に」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 14 輯、令和 3 年 3 月)
佐々木 隆	博士(英文学)	教育課程総論 総合的な学習の 時間の指導法 英語文学 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 国際文化交流	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本英語文化学会編『英語文化研究』（共著、日本英語文化学会創立 45 周年記念論文集、春風社、令和 3 年 3 月） ・『「ハロウィーン」とは何か』（前編）（中編）（後編）（武蔵野学院大学佐々木隆研究室、令和 3 年 4 月） ・『書誌から見た「オタク」研究』（前編）（中編）（後編）（多生堂、令和 3 年 5 月） ・『文芸上・映像上の人造人間・ロボット・アンドロイド・サイボーグ』（前編・中編・後編）（武蔵野学院大学佐々木隆研究室、令和 3 年 8 月） ・『日本シェイクスピア劇上演年表

			<p>(1866年～2019年4月)』(多生堂、令和3年9月)</p> <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『総合的な学習の時間の指導法』の実践報告(『新教育課程研究』第26号、武蔵野教育研究会、令和3年12月) ・「遠隔授業の実践報告—English Reading & Writingの授業の場合」(『新教育課程研究』第27号、武蔵野教育研究会、令和4年2月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師(平成21年度～令和3年度) ・NPO 法人子ども大学かわごえ講師(平成29年度) ・武蔵野学院大学・武蔵野短期大学子ども大学さやま講師(平成25年度、平成28年度) ・武蔵野学院大学・武蔵野短期大学コラボレーション講座講師(平成30年度)
高橋 恵美子	博士(文学)	日本文化論 1	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『中世結城氏の軍記と家伝』(勉誠出版、平成22年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中世武家文書における仮名使用の変遷—鎌倉期を中心に」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第14輯、平成29年3月) ・「中世軍記史料における料紙表現—『平家物語』諸本を中心に」(湯山賢一編『古文書料紙論叢』、勉誠出版、平成29年) ・「中世武家文書における仮名使用に関する一考察—足利氏を中心に」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年3月) ・「家伝史料『結城軍記』諸本の相関関係—『小山記』『長沼日記』を対照して—」(松尾葦江編『軍記物語講座 第四巻 乱世を語りつぐ』、花鳥社、令和2年) ・「醍醐寺所蔵「野月」と松橋流秘点」

			(永村眞編『中世寺院の仏法と社会』、勉誠出版、令和3年)
Jeffrey Trambley	修士 (音楽)	英語科教育法IV	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<i>Magic Hat : English Course II</i> (共著、教育出版株式会社、平成20年) ・『ネイティブあたまで・何でも・言える英会話フレーズ辞典』(新星出版社、平成22年) ・『ネイティブ日常英会話リアルフレーズ辞典』(新星出版、平成30年) ・『日本人の9割がじつは知らない英単語100』(ちくま新書、令和2年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“An Initial Assessment of Student iPad Usage at a Japanese University” (『武蔵野学院大学研究紀要』第10輯、平成25年4月) ・“Fostering Learner Autonomy and Motivation Utilizing an Online Reading Journal in Google Drive” ([co-authorship] <i>Annual Conference on Education Innovation, The Conference Proceedings of ACEI, 2013</i>) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
久保田 哲	博士 (法学)	日本社会論 1	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『元老院の研究』(慶応義塾大学出版会、平成26年) ・『グローバル化と日本の政治・経済』(共著、芦書房、平成26年) ・『なぜ日本型統治システムは疲弊したのか』(共著、ミネルヴァ書房、平成28年) ・『帝国議会－西洋の衝撃から誕生までの格闘』(中央公論社、平成30年) ・『歴史の中の人物像－ふたりの日本史』(共著、小径社、令和元年) ・『明治十四年の政変』(集英社インターナショナル、令和3年) ・『図説 明治政府－日本人が求めた新しい国家体制とは』(戎光祥出版、令和3年)

			<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元老院国憲案に対する政治史的再考」(『自由民権』、令和 2 年) ・「外国新聞が報じた近代日本－元老院の創設から明治 14 年の政変まで」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 19 輯、令和 4 年 3 月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伊藤博文の帝国議会構想」(日本選挙学会平成 29 年度研究会、平成 29 年 5 月)
藤田 公司	文学士	English Reading & Writing 2 基礎英語 2	
上松 恵理子	博士(教育学)	情報処理入門	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『読むことを変える－新リテラシー時代の読解－』(新高速印刷、平成 22 年) ・“ ICT Education in Japanese Schools ” (<i>Recherches en Communication, Maison des Scences de l’Homme Paris Nord, Paris, France, 2015</i>) ・『小学校にプログラミングがやってきた！超入門編』(三省堂、平成 28 年) ・「モバイルメディアと学校教育－学びと学力観の新たなグローバルスタンダード」(『ポスト・モバイル社会』、世界思想社、平成 28 年) ・“ Mobile Media and School Education” ([co-authorship] <i>The Post-Mobile Society : from the Smart/Mobile to Second Offline, Routledge, 2016</i>) ・『小学校にオンライン教育がやってきた！』(三省堂、令和 3 年) ・“ Media literacy and emerging media in education” ([co-authorship] <i>The Second Offline – Doubling of Time and Place, Springer, 2021</i>) ・「子ども・学校・ケータイ」(『ケータイ社会論』、有斐閣、令和 4 年) ・『セカンドオフラインの世界：多重

			化する時間と場所』(共著、恒星社厚生閣、令和4年)
和田 賢治	博士 (学術)	Advanced English Reading & Writing 2	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『北京のアダム・スミス 21世紀の諸系譜』(共訳、作品社、平成23年) ・『グローバル政治理論のための30冊』(共著、人文書院、平成23年) ・『国際関係論の生成と展開 日本の先達との対話』(共著、ナカニシヤ出版、平成29年) ・“Microfinance : empowering women and/or depoliticizing poverty?” ([co-authorship] <i>Handbook on the International Political Economy of Gender</i>, Northampton, MA: Edward Elgar Publishing, 2018) ・『「戦争と社会」という問い』(シリーズ戦争と社会1)(共著、岩波書店、令和3年) ・『批判的安全保障論ーアプローチとイシューを理解する』(共著、法律文化社、令和4年) [学術論文] ・博士論文「武力紛争後の女性のニーズに対する支援と統治 グローバル・リベラル・ガヴァナンスによるリスク管理をめぐって」(神戸大学、平成22年3月) ・「平和構築への女性の関与 ジェンダー主流化のパラドックス」(『平和研究』第43号、平成26年10月) ・「保守のアジェンダへの女性・平和・安全保障の再構成ーカナダのハーバー政権を事例に」(『ジェンダー研究』令和元年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
高田 久実	修士 (法学)	現代社会論1(日本国憲法を含む) English Reading & Writing 1 基礎英語1	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『法学概論』(共著、慶應義塾大学出版会、平成27年4月) ・『法文化叢書第14巻 刑罰をめぐる法文化』(共著、国際書院、平成30年10月) ・『法制史学会70周年記念若手論集』

			<p>(共編著、慈学社、令和元年12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“History of Japanese Design Law and Relevant International Instruments”(co-authorship) <i>Japanese Design Law and Practice</i>, Kluwer Law International, 2020) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「刑事裁判費用制度成立小史」(『司法法制部季報』第144号、平成29年2月) ・“Who Led the Modernization of Japan During the Early Meiji Period?”(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第10輯、平成29年2月) ・「讒謗律から誹毀ノ罪へー明治初期の名誉棄損罪をめぐるイギリス法学とフランス法学」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第17輯、令和2年3月) ・「改正刑法準備草案と團藤一名誉に対する罪をめぐる戦前・戦後の刑法改正事業」(福島至編著『團藤重光研究』、日本評論社、令和2年2月) ・「償いに見る刑事法典の近代化ー収贖・贓から賠償へー」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第18輯、令和3年3月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明治初年の吟味願と告訴・告発」(法制史学会第72回総会、令和3年11月)
林 大輔	法学修士 アメリカ研究 修士	英語討論	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『戦後アジア・ヨーロッパ関係史 冷戦・脱植民地化・地域主義』(共著、慶応義塾大学出版会、平成27年) ・『東アジアの中の日本と中国:規範・外交・地域秩序』(共著、晃洋書房、平成28年) ・『中国はどこへ向かうのか国際関係から読み解く』(共著、弦書房、令和3年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「EU・中国関係の制度的枠組 法的基盤・重層的対話枠組・パートナーシ

			<p>ップ」(『日本 EU 学会年報』、平成 30 年 5 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「欧州の中国認識と対中国政策をめぐる結束と分断 規範と利益の間に揺れ動く EU」(日本国際問題研究所編『中国の対外政策と諸外国の対中政策』、令和 2 年 3 月) ・「戦後英米議会における対中国政策 英国議会对中国親善使節と米連邦議会「中国援助法」の成立、一九四五年—一九四九年」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 18 輯、令和 3 年 3 月) ・「変化の時代の中の欧州・中国関係—新型コロナウイルス・香港問題・米中対立を中心に」(『CISTEC ジャーナル』第 192 号、令和 3 年 3 月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「対立と協調の狭間で—欧州から見た中国」(福岡ユネスコ・アジア文化講演会「対外関係から見た中国」、エルガーラホール、令和元年 12 月) ・教員免許状更新講習講師
横手 尚子	英米文学士	基礎英語 2	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『世界に通じるマナーとコミュニケーション—つながる心、英語は翼』(共著、岩波書店、平成 29 年) ・『ネイリストのためのマナーと接客英会話』(IBC パブリッシング、平成 30 年) ・『おもてなし接客英会話テキストブック改訂版：外国人送迎ドライバー向け接客マナーの基本と接客英語』(NextPublishing Authors Press、平成 31 年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おもてなしを多面的に考察する～おもてなし本来の意味とは～」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 17 輯、令和 2 年 3 月) ・「外国語習得における大学生の意識調査—留学生 50 名と日本人学生 100 名の学びの姿勢が語るもの」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 18 輯、令和 3 年 3 月)

			<ul style="list-style-type: none"> ・「英語教育における World Englishes の影響ーグローバル化にともない変化する英語と英語教育に関するー考察ー」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 19 輯、令和 4 年 3 月) [その他] ・『接客英語を身につける』Learning Teacher's Forum : 英語を教える全ての人々へ」(ENGLISH JOURNAL、アルク、令和 2 年) ・講演「運転席から世界に伝わるマナーの心とおもてなし英語」(岡山県観光連盟・岡山県タクシー協会、令和元年) ・教員免許状更新講習講師
Franco Serena	修士 (法学)	English Listening Speaking 1 English Listening Speaking 2 & &	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“L'impatto delle morti violente sul valore degli immobili in Giappone” ([co-authorship] <i>Sguardi Sul Giappone</i>, Libreria Editrice Cafoscarina, 2020) ・“Odi et amo. Japan's complex relationship with the CISG” ([co-authorship] <i>The Transnational Sales Contract</i>, Wolters Kluwer: ITALY, 2022) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“Is the CISG a Useful Tool for the Interpretation of the Newly Reformed Minpō?” (<i>The Italian Law Journal</i>, Special Issue , 2018) ・「CISG 一九条 (申込みに変更を加えた承諾) における解釈対立ーその原因に関するー考察ー」(『法学政治学論究』127 号、令和 2 年) ・「CISG19 条による「不完全な合意」の解釈ーアメリカとフランスの判例の比較ー」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 19 輯、令和 4 年) [その他] ・「国際売買契約ーWarranty Clause についてー」(国際取引法フォーラム、令和 2 年)

<p>穂元 美咲</p>	<p>修士 (文学)</p>	<p>English Reading Writing 2 Advanced English Reading Writing 1</p>	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “Narrative Constructions in Japanese and English : the difference between Japanese and English Perspectives” (<i>Collquia</i>, 第 33 号、平成 24 年) ・ “ Interactive nature of conversation : the ‘fake’ turn-keeping system of lists and its prosody” (<i>Colloquia</i>, 第 34 号、平成 25 年) ・ 「人口共通語希求の内発性と外発性についての一考察」(『藝文研究』第 112 号、平成 29 年) ・ 「社会言語学のトレンドと言語意識」(<i>Fora</i>, 第 2 号、平成 30 年) ・ “Reconsidering Gender Research in Communication : From Sociolinguistic Perspective” (『武蔵野学院大学研究紀要』第 18 輯、令和 3 年 3 月)
<p>原田 早春</p>	<p>修士 (教育学)</p>	<p>特別支援教育 English Reading Writing 2 Advanced English Reading Writing 1 Advanced English Reading Writing 2</p>	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「聴覚障害者を対象とする高等教育におけるリベラル・アーツ：米国ギャローデト大学の歴史と現状」(『人間と社会の探求：慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要』第 86 号、平成 30 年) ・ 「米国ギャローデット大学の Deaf President Now 運動にみる「大学」と「ろう文化」」(『哲学』第 143 集、平成 31 年) ・ 「新潟大学の巻 (今、大学で)」(共著、『聴覚障害』第 74 巻、第 778 号、令和元年) ・ 「AI と障害者支援：誰のためのテクノロジーか？ (データ駆動型社会における人間と教育)」(『教職研修』第 583 号、令和 3 年)
<p>野村 和</p>	<p>修士 (教育学)</p>	<p>教育原理 教育課程総論 教育方法 (ICT 活用を含む)</p>	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『よくわかる生涯学習 (改訂版)』(共著、ミネルヴァ書房、平成 28 年) ・ 『社会教育の学習論』(共著、学文社、平成 28 年) ・ 『生涯学習支援の基礎』(共著、学文

			<p>社、令和 4 年)</p> <p>〔学術論文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本における『児童の権利条約』批准以降の取り組みと課題に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年) ・「ソサエティ 5.0 に向けての教育課程に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 16 輯、平成 31 年) ・「昭和初期のラジオによる母親像形成に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 34 輯、令和 2 年) ・「新学習指導要領における教師の役割に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 17 輯、令和 2 年) ・「保育者のキャリア形成に関する課題を踏まえた教育に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 18 輯、令和 3 年) ・「地域子育て支援におけるアクティブシニアの活動に関する考察」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 36 輯、令和 4 年) ・「『他者理解』に向けた内部質保証システム構築に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 19 輯、令和 4 年) <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
成瀬 雄一	修士(心理学)	教育相談	<p>〔学術論文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望—描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討—」(共著、『人間関係学研究』18 巻 2 号、平成 24 年) ・「全学校規模の介入の確立に向けた行動コンサルテーションの展開」(共著、『日本 LD 学会 第 21 回年次大会発表論文集』、平成 24 年) ・「保育者のメンタルヘルスと行動コンサルテーション」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 28 輯、平成 26 年) <p>〔その他〕</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・「現場復職した初任者教員をどう支援するか—SEIQol-DWによる行動コンサルテーションの質的検討」（日本学校メンタルヘルス学会 第19回プログラム・抄録集、平成28年） ・「初任者幼稚園教諭の主観的QOLの変化—就職前後に起こる個人内判断基準の変化を中心に—」（日本学校メンタルヘルス学会 第23回大会プログラム・抄録集、令和2年） ・教員免許状更新講習講師
伴 好彦	修士(体育学)	スポーツ1 スポーツ2 スポーツと健康	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『スポーツの現代的課題』（共著、東洋大学現代社会総合研究所、蔦友印刷、平成31年） ・『スキー研究 100年の軌跡と展望』（共著、日本スキー学会、道和書院、令和3年） <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アルペンスキー用ヒールフリースラッププレートの開発」（『スキー研究』11巻、平成26年） ・「本学学生の体型、体力と健康的な生活に関する研究」（『武蔵野短期大学研究紀要』第32輯、平成30年） ・「カリキュラムポリシーのルーブリックを用いた学生自己評価」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第18輯、令和3年） ・「各授業における学習評価ルーブリックを用いた学生自己評価」（『武蔵野短期大学研究紀要』第36輯、令和4年） <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
八木 浩雄	修士(教育学)	道徳教育の指導法	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『子どもの育ちを支える 教育課程・保育課程論』（共著、大学図書出版、平成26年） ・『保育者・小学校教諭・特別支援学校教諭のための教職論』（共著、北大路書房、平成26年） ・『子どもの育ちを支える 子どもと言葉』（共著、大学図書出版、平成28

			<p>年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『教育の質を高める 教育原理』(共著、大学図書出版、平成 29 年) ・『教育の知恵 60 教師・教育者を励まし勇気づける名言集』(共著、一藝社、平成 30 年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『『論語』に見る「言葉」の扱いについての一考察—保育者として「言葉」を考える上での一例として—』(『武蔵野短期大学研究紀要』第 29 輯、平成 27 年 3 月) ・「今日の学校教育での道德教育の位置づけについて—幼稚園教育要領・小学校学習指導要領の改定を踏まえて」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 16 輯、平成 31 年 3 月) ・「教員間の連携を支える情報メディアの活用について—本学の担任としての学生指導を例に—」(共著、『武蔵野短期大学研究紀要』第 33 輯、平成 31 年 3 月) ・「遠隔授業時の情報メディア機器活用の実態—授業を通しての実際を踏まえて—」(『武蔵野短期大学研究紀要』第 35 輯、令和 3 年 3 月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
青木 雅幸	M.A. in TESL/TEFL	English Reading & Writing 1 English Reading & Writing 2 英語科教育法Ⅲ	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Have a Nice Day! Talking about Daily Activities</i> (南雲堂、平成 19 年) ・ <i>English in 30 Seconds-Award Winning TV Commercials from the Cannes Festival</i> (南雲堂、平成 21 年) ・ <i>The Globalized Business World</i> (成美堂、平成 23 年) ・ <i>Inspirational Stories from Around the World</i> (南雲堂、平成 28 年) ・『児童英語教育のための方法と技術』(南雲堂、令和元年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “Analyzing ‘The Critics’ Choice 2012 : Anti-smoking TV Commercial

			<p>Reel' as a Recommended Free Educational Resource Developed by ANYPAT” (『武蔵野学院大学研究紀要』第13輯、平成28年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “Methods and Techniques for Utilizing Commercials as Teaching Materials” (『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第11輯、平成30年3月) ・ 「豪州テレビCMに観る企業・製品標語の分析とその言語・異文化教育への応用」 (『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第13輯、令和2年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員免許状更新講習講師
荒木 洋育	博士 (文学)	基礎英語 1	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『悪の歴史 西洋編 (下)』 (共著、清水書院、平成30年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『『アングロ=ノルマン王国』崩壊期における国王とクロス=チャンネル=バロンズ』 (『西洋史学』第226号、平成19年3月) ・ 『『アングロ=ノルマン王国』崩壊期のイングランド国王財政とクロス=チャンネル=バロンズ』 (『史学雑誌』第116巻第4号、平成19年3月) ・ 「ジョン治世初期のイングランド国王行政の再評価ー軍役代納金の徴収状況から」 (『歴史学研究』第843号、平成20年8月) ・ 「1960、70年代英国の貿易構造の転換とニュージーランド 自立とその代償」 (『日欧比較文化研究』第18号、平成26年10月) ・ 『『マグナ=カルタ』を公認した英王ジョンの虚像と実像 プランタジネット家の君主として』 (『日欧比較文化研究』第19号、平成27年10月) ・ 「リチャードI世・ジョン期イングランドの統治構造と教皇との関係: カンタベリー大司教・行政長官ヒューバート・ウォルターの役割」 (『日欧比較文化研究』第21号、平成29年10月) ・ 「エリノア・オブ・アキテーヌとリチ

			<p>ヤード I 世期イングランド統治体制」 (『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 15 輯、平成 30 年 3 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジョン期イングランドの統治手法の特徴とその問題点：軍役代納金の賦課状況から」(『日欧比較文化研究』第 22 号、平成 30 年 3 月) ・「ウィリアム・マーシャルとリチャード I 世期イングランド統治体制」(『日欧比較文化研究』第 24 号、令和 2 年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県立芸術総合高校 特別非常勤講師
稲葉 真二		進路指導	<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別寄稿「学習指導要領の改定と社会人基礎力の再定義についての考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 18 輯、令和 3 年 3 月)
梅田 紘子	文学修士	英語学概論 異文化コミュニケーション	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『ことばの事実をみつめて 言語研究の理論と実証』(共著、開拓社、平成 23 年) ・『言語聴覚士国家試験—受験対策実践講座 2017~18 年版』(共著、診断と治療社、平成 28 年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“On the Function of Tense in English and Japanese” (『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 3 輯、平成 22 年 4 月) ・“Hedges and Rising Intonation : Politeness Phenomena in English and Japanese” (『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 6 輯、平成 25 年 4 月) ・「アイルランド—抵抗の歴史と現状」(『日欧比較文化研究』第 17 号、平成 25 年 10 月) ・「国際貢献のための日本英語」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年 3 月) ・「『積極的』と『消極的』の英語訳—『吾輩は猫である』における用例より

			<p>一」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第8輯、平成27年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“Introducing TOEIC Bridge to Musashino Gakuin University : Evaluation of the 2014 Results” (共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第12輯、平成27年3月) ・「英語仮定法－反事実でない用法について」(『日欧比較文化研究』第21号、平成29年10月) ・「分詞構文の持ち味」(『日欧比較文化研究』第24号、令和2年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
長田 祥一	学術修士	English Listening & Speaking 2	<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「映像における空間一意識されず当然そこにあつたものとされる空間の、その生起をめぐって」(表象文化論学会第13回大会、平成30年)
神谷 奈緒	M.Ed./M.A.T. (Elementary Education) 修士(教育学)	English Listening & Speaking 2	<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法政大学、東京経済大学、恵泉女学園大学 TOEIC 講座担当 ・東北大学、明治学院大学 TOEFL ITP, iBT 講座担当 ・京都府教育委員会主催 TOEIC セミナー担当
許 楽	法学修士	中国語 I	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京津冀労働政策的差異與協同」(北京行政学院学報、令和2年) ・修士論文「中国失業保険制度の創出—福祉構築をめぐる政治力学」(慶応義塾大学、令和2年3月)
國枝 俊弘	修士(文学)	教育心理学	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業の市場調査、および人事評価からみた、大学教育に関するアプローチ」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第18輯、令和3年3月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材採用×心理学アプローチ「なぜ歯科衛生士の見極めに失敗するのか？」(歯科の人材研究セミナーvol.2、令和元年)

久保田 裕 紀	修士 (文学)	English Reading Writing 1 & 基礎英語 2	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アガペーのゆらぎ-ロレンス・スターン『ブラーミンの日記の続き』における恋愛の非正統性」(『藝文研究』、慶應義塾大学、令和元年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ロレンス・スターンの説教と『トリストラム・シャンディ』における sensibility の可能性」(日本英文学会第 91 回大会、令和元年)
小口 恵巳 子	博士 (社会科学)	教育社会学	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『親の懲戒権はいかに形成されたか 明治民法編纂過程からみる』(日本経済評論社、平成 21 年) ・『三行半の世界とその周縁』(共著、日本経済評論社、平成 24 年) ・『現代家族ペディア』(共編、弘文堂、平成 27 年) ・『家庭支援論』(共著、一藝社、平成 30 年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明治民法編纂過程における親の懲戒権—名誉維持機能をめぐって—」(『比較家族史研究』第 20 号、平成 18 年 3 月) ・博士論文「明治民法編纂過程における親の懲戒権の研究」(お茶の水女子大学、平成 19 年 3 月) ・「旧民法編纂過程における親の懲戒権の生成過程とフランス民法の受容」(『人間科学研究』第 4 巻、平成 20 年 3 月)
齋藤 英男	教育学士	生徒指導論	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書道(書くこと)を通じた心理的効果に関する考察」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 9 輯、平成 24 年) ・「教育におけるナラティブ活用に関する研究」の研究過程と教員養成」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 10 輯、平成 25 年) ・「教育におけるナラティブ活用の研究—教員養成について」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年)

			<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児・児童の筆跡による性格・行動との関連の考察」(『武蔵野学院大学研究紀要』第12輯、平成26年) ・「日本の書道文化についての考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第12輯、平成27年) ・「筆跡における性格用語と筆跡特徴の整合性の研究2」(『武蔵野学院大学研究紀要』第17輯、令和2年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
高野 一雄	文学士	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職実践演習 (中・高) 基礎英語1 基礎英語2	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「効果的な教育実習講義の実施に向けての一考察」(『武蔵野学院大学研究紀要』第18輯、令和3年) ・「学習指導要領改訂の経緯に関する一考察－高等学校英語の「目標」の変遷」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第18輯、令和3年3月) ・『英語が使える日本人』育成のための行動計画及び『国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策』についての一考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第19輯、令和4年3月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
田中 雄一朗	修士(法学)	韓国語Ⅰ	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学修士論文「南北交易における現代グループの対北朝鮮事業」(慶応義塾大学大学院、平成24年3月) ・「金大中・盧武鉉・李明博政府の対北朝鮮政策と南北経済協力の政治的意義：韓国国内政治の視点から」(『国際情勢』第83号、平成25年2月) ・法学修士論文「南北経済協力の政治的意義－開城工業団地を事例として」(慶応義塾大学大学院、平成26年3月) ・「(原文インドネシア語) 朝鮮半島の中の9.30事件」(共著、『(原文インドネシア語) 冷戦の影の中の9.30事件とアジア』、ジャカルタ：コンパス社、平成28年3月)

Niall Higgins	B.A. in History and Politics	English Listening & Speaking 1 English Listening & Speaking 2	
中川 太介	修士(政治学)	中国語 I	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中華民国初期、雲南における塩政改革案 産塩を中心に」(『東洋学報』第 97 巻第 2 号、平成 27 年 9 月) ・「中華民国北京政府期における雲南の塩政改革」(『社会経済史学』第 83 巻第 1 号、平成 29 年) ・修士論文「雲南辺境における辛亥革命－非・中心としての国家・民族」(平成 19 年 3 月) ・博士論文「中華民国期の雲南における塩業改革－北京政府時期を中心に－」(平成 30 年 7 月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書評「周婉窈著、石川豪、中西美貴訳『図説 台湾の歴史』(平凡社)」(『史学雑誌』第 117 巻第 1 号、平成 20 年)
西久保 栄司	文学士	教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ	
西村 友樹雄	博士(比較文学)	フランス語 I	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アンドレ・ジッド『アンドレ・ヴァルテールの手記』における音楽 その理想と瓦解について」(『日本フランス語フランス文学会 関東支部論集』第 23 号、平成 26 年 12 月) ・「(原文フランス語) アンドレ・ジッドと音楽－『ショパンについてのノート』をめぐって－」(『日本館他分野研究会ノート』第 9 号、平成 28 年 2 月) ・博士論文「(原文フランス語) アンドレ・ジッドの『ショパンについてのノート』とその時代 「ロマン主義的」音楽家に立ち向かう「古典主義的」音楽家？」(パリ・ナンテール大学、令和 2 年 6 月)
蓮池 重代	教育学博士	韓国語 I	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修士論文「歴史教育における「朝鮮戦争」認識の現状と課題」(上越教育大

			<p>学、平成 21 年 1 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フーコーのエピステーメー区分によるコメニウスの『世界図絵』の類型分析」(共著、『教育哲学研究』38 (2)、韓国教育哲学学会、平成 28 年 6 月) ・「邑誌でみた朝鮮時代の平壤の学校とその運営」(共著、『教育史学研究』27 (1)、教育史学会、平成 29 年 5 月) ・「日帝強占期の公民科導入期前後における朝鮮の『公民教育』意味変容に関する概念史研究」(共著、『教育哲学研究』39 (3)、韓国教育哲学学会、平成 29 年 9 月) ・博士論文「日帝強占期の師範学校の教育課程に関する研究－教科を中心」(大韓民国東国大学校、平成 30 年 2 月) ・「第二次朝鮮教育令前後における初等教員試験の動向と実態－植民地朝鮮で発行された新聞記事の分析を中心にして－」(『筑波大学教育学系論集』第 45 巻第 1 号、令和 2 年 10 月)
福田 直	農学修士	教職概論 教育行政学 特別活動論	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『土をどう教えるか－新たな環境教育教材』上巻・下巻 (共著 (編集委員長)、故近書院、平成 21 年) ・『『自然の教育』カリキュラム ふれる・感じる・気づく一年少編』、『『自然の教育』カリキュラム ふしぎの心をふくらませる一年中編』、『『自然の教育』カリキュラム－冒険する・仲間と学びあう一年長編』(共著、ひとなる書房、平成 25 年) ・『土壌の観察・実験テキスト－自然観察の森の土壌断面集き－』(共著、一般社団法人日本土壌肥料学会、平成 26 年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海外と日本の教科書における土壌記載から見た土壌教育の比較研究 (1)－日本とアメリカの教科書比較－」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 11 輯、平成 26 年) ・「日本と中国の環境教育の比較分

			<p>析」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 12 輯、平成 27 年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習指導要領改訂に向けた学会員の要望調査結果の分析と土壌教育への提言」(『日本土壌肥科学雑誌』第 86 巻第 5 号、平成 27 年) ・「学習指導要領の次期改訂に向けた「土壌教育に関する要望書」の文部科学省への提出の背景と経緯」(共著、『日本土壌肥科学雑誌』第 86 巻第 6 号、平成 27 年) ・「21 世紀型能力の育成におけるフレネ教育技法の導入の意義と課題」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 13 輯、平成 28 年) ・「関係諸機関との連携に基づく教育活動の構築に関する研究－土壌リテラシーの育成に向けた取組－」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 14 輯、平成 29 年) ・「スーパーサイエンスハイスクールにおける先進的な取組と成果の検証」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 15 輯、平成 30 年)
藤井 宏尚	修士 (文学)	フランス語 I	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『世界遺産で学ぶフランス語』(共著、朝日出版社、平成 20 年) ・『はじめてのパリ (新・改訂版)』(共著、朝日出版社、平成 22 年) ・『新・赤い風船』(共著、朝日出版社、平成 25 年) ・『フランスさまざま』(共著、朝日出版社、平成 25 年) ・『キーフレーズで学ぶフランス語』(共著、三修社、平成 30 年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK 文化センター、東京都千代田区生涯学習館フランス語講師
本多 周爾	博士 (法学)	国際コミュニケーション	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『発展と開発のコミュニケーション政策』(武蔵野大学出版会、平成 18 年) ・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(共著、文化書房博文社、平成 20 年)

			<p>イティ』(春風社、平成 22 年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成 29 年) <p>〔学術論文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ナショナル・アイデンティティを再考するー日本からの視点を中心に」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 6 輯、平成 25 年 4 月) ・「いま ODA に求められているものー日本の国際的な役割」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 10 輯、平成 25 年 4 月) ・「文化帝国主義という言説」(慶応義塾大学法学研究会『法学研究』第 86 巻第 7 号、平成 25 年 7 月) ・「ODA から見た日本の国際貢献」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年 3 月) ・「衛星放送とインターネットで変わる国際コミュニケーション」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 7 輯、平成 26 年 3 月) ・「プロパガンダ：政治宣伝と説得のコミュニケーション」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 8 輯、平成 27 年 3 月) ・「ネーション、ナショナルリティ、そしてナショナリズム」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 12 輯、平成 27 年 3 月) ・「戦争をめぐるメディア報道とプロパガンダ」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 9 輯、平成 28 年 3 月) ・「東アジア情勢とナショナリズム」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 13 輯、平成 28 年 3 月) ・「国際コミュニケーションに影響を与えるいくつかの要因」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 11 輯、平成 30 年 3 月)
正清 健介	博士 (学術)	フランス語 I	
森 祐介	学士 (総合政策)	基礎英語 2 ボランティア	<p>〔学術論文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高等教育機関における外国人教員が直面する問題とそれをサポートす

			<p>る日本人教職員との関係性の考察」 (『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第17輯、令和2年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「産学官霊験によるPBL オンラインインターンシップの設計と実践」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第18輯、令和3年3月) ・「地域に貢献する産学官連携によるPBL 型インターンシップの設計と実践」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第19輯、令和4年3月)
森田 真登	文学修士	English Reading & Writing 1 基礎英語 1 基礎英語 2	

・教員養成に係るカリキュラム、シラバスなど

○基礎科目

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目									
認定を受けようとする学部・学科等		国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	入学定員 120 名		学位 学士（国際コミュニケーション）			
免許法施行規則に定める科目及び単位数		左に対応する開設授業科目					備考	職位	教員氏名
科目	単位数	授業科目	配当年次	単位数		授業形態			
				必修	選択				
日本国憲法	2	現代社会論 1（日本国憲法を含む）	1・2	2		講義		准教授	高田久実
体育	2	スポーツ 1	1・2		1	実習	2 単位 選択 必修	兼任	伴好彦
		スポーツ 2	2・3		1	実習		兼任	伴好彦
		スポーツと健康	2・3		2	演習		兼任	伴好彦
外国語コミュニケーション	2	基礎英語 2	1		2	演習	1 科目 2 単位 選択 必修	教授 准教授 兼任	藤田公司 横手尚子 久保田裕紀
		中国語 I	1・2		2	演習		兼任 兼任	許楽 中川太介
		韓国語 I	1・2		2	演習		兼任 兼任	田中雄一朗 蓮池重代
		フランス語 I	1・2		2	演習		兼任 兼任 兼任	西村友樹雄 藤井宏尚 正清健介
情報機器の操作	2	情報処理入門	1・2	2		演習		准教授	上松恵理子

①教科及び教科の指導法に関する科目（英語科）

学部・学科等		施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				備考	職位	教員氏名		
学部	学科等	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数					授業形態	
						必修	選択					
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 免状取得に必要な最低修得単位数 ・教科及び教科の指導法に関する科目 中28単位 高24単位		教科及び教科の指導法に関する科目	英語コミュニケーション	英語学	英語学概論	2・3	2		講義	兼任	梅田紘子
					英語文学	英語文学	2・3	2		講義	教授	佐々木 隆
						English Reading & Writing 1	1	2		演習	准教授 兼任 兼任 兼任	高田久実 青木雅幸 久保田裕紀 森田真登
						English Reading & Writing 2	1	2		演習	教授 講師 助教 兼任	藤田公司 穂元美咲 原田早春 青木雅幸
						English Listening & Speaking 1	1	2		演習	准教授 兼任	F. Serena N. Higgins
						English Listening & Speaking 2	1	2		演習	准教授 兼任 兼任 兼任	F. Serena 長田祥一 神谷奈緒 N. Higgins
						Advanced English Reading & Writing 1	2	2		演習	講師 助教	穂元美咲 原田早春
						Advanced English Reading & Writing 2	2	2		演習	准教授 助教	和田賢治 原田早春
						基礎英語 1	1	2		演習	准教授 兼任 兼任 兼任	高田久実 荒木洋育 高野一雄 森田真登
						英語討論	3・4	2		演習	准教授	林大輔

			異文化理解	異文化コミュニケーション	2・3	2		講義		兼任	梅田紘子
			教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
			各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	2	2	演習	中一種免許 いずれか 2科目 選択必修	教授	佐々木隆	
		英語科教育法Ⅱ		2	演習		教授		佐々木隆		
		英語科教育法Ⅲ		3	演習		兼任		青木雅幸		
		英語科教育法Ⅳ		3	演習		教授		J. Trambley		

②大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				備考	職位	教員氏名	
学部	学科	科目区分	単位数	授業科目	配当年次	単位数					授業形態
						必修	選択				
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 免許状取得に必要な最低修得単位数 ・大学が独自に設定する科目 中4単位 高12単位	大学が独自に設定する科目	中4 高12	教育社会学	2・3		2	講義	高一種免のみ	兼任	小口恵巳子
				国際コミュニケーション	1・2		2	講義		兼任	本多周爾
				ボランティア	2・3		2	実習		兼任	森祐介
				道徳教育の指導法	2・3		2	講義		兼任	八木浩雄
				日本文化論1	1・2		2	講義		教授	高橋恵美子
				日本社会論1	1・2		2	講義		教授	久保田哲
				国際文化交流	1・2		2	講義		教授	佐々木隆

③教育の基礎理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備考	職位	教員氏名	
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	配当年次	単位数					授業形態
					必修	選択				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	12	教育原理	1・2	2		講義	兼任	野村和	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	1・2	2		講義	兼任	福田直	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学	3・4	2		講義	兼任	福田直	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	1・2	2		講義	兼任	國枝俊弘	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	2・3	2		講義	助教	原田早春	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	2	2		講義	教授 兼任	佐々木隆 野村和	
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中13 高11	道徳教育の指導法	2・3	2		講義	中一種免のみ 兼任	八木浩雄	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	3	2		講義	教授	佐々木隆	
	特別活動の指導法		特別活動論	3	2		講義	兼任	福田直	
	教育の方法及び技術		教育方法(ICT活用を含む)	3	2		講義	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む 兼任	野村和	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							教育の方法及び技術に含まれる		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	3	2		講義	兼任	齋藤英男	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎		教育相談	3	2		講義	兼任	成瀬雄一	

	的な知識を含む。)の理論及び方法									
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導	4	1		講義		教授 兼任	高橋暢雄 稲葉真二
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習 I	4	1		講義	中一 種 免必修	兼任 兼任 兼任 兼任 兼任	高野一雄 西久保栄司 高野一雄 西久保栄司 高野一雄 西久保栄司
			教育実習 II	4	2		実習			
			教育実習 III	4		2	実習			
	学校体験活動									
教職実践演習	2		教職実践演習(中・高)	4	2		演習	兼任	高野一雄	

・学生の教員免許状取得状況

卒業年次 免許状 種類	令和2年9月 卒業	令和3年3月 卒業	令和3年9月 卒業	令和4年3月 卒業
中学校教諭一種 (英語科)	0名	2名	0名	3名
高等学校教諭一 種(英語科)	0名	2名	0名	3名

・教員への就職状況

卒業年次 免許状 種類	令和2年9月 卒業	令和3年3月 卒業	令和3年9月 卒業	令和4年3月 卒業
中学校教諭一種 (英語科)	0名	0名	0名	0名
高等学校教諭一 種(英語科)	0名	0名	0名	2名